

学校だより5月号



令和8年4月30日
横浜市立白根小学校



白根小 HP

立夏のたより ～初夏の気配の中で～



校長 坂井 敦

新緑が日に日に色濃くなり、校庭や通学路にも初夏の気配が感じられる季節となりました。新学年が始まって1か月が過ぎ、子どもたちは少しずつ新しい学級や友達にも慣れ、それぞれの学校生活を歩み始めています。

5月5日は二十四節気の「立夏」。暦の上では夏の始まりです。また七十二候では「蛙始鳴（かわずはじめてなく）」とされ、水辺からカエルの鳴き声が聞こえ始める頃でもあります。例年この時期は、移動性高気圧に覆われ、乾燥したさわやかな晴天が続き、外で活動するにはとても気持ちのよい季節です。

しかし、その心地よさも束の間、やがて太平洋高気圧の影響を受け、蒸し暑い季節へと移り変わっていきます。昨年は5月に県内で真夏日を記録し、驚かされたことを覚えている方も多いのではないのでしょうか。今年の長期予報でも暑い夏となりそうだと報道され、警戒しているところです。

さて、12日には5年生が高尾へ宿泊体験学習に出かけます。自然の中での集団生活や体験活動を通して、学校では学べない多くのことを感じ、考え、仲間との絆を深めてほしいと願っています。できれば、この時季らしい過ごしやすい気候の中で、思いきり活動を楽しんでもらいたいところです。

新しい環境での生活が続く中で、気付かないうちに疲れが出やすい時期でもあります。また、これからの本格的な暑さに備え、少しずつ体を慣らしていく「暑熱順化」も大切な時期です。気温が上がってきたからといって、すぐにエアコンに頼るのではなく、適切な水分補給や通気、活動の工夫などを通して、無理のない形で体を整えていくことが大切だと考えています。ゴールデンウィークで心と体をリフレッシュしつつ、連休明けも元気に楽しく学校生活を送ってほしいと思います。

今月も、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



5月の目標

- 【生活】気持ちのよい返事やあいさつをしよう
- 【保健】しせいを正しくしよう
- 【給食】食事のマナーを身につけよう

